

2019 年度能力判定試験「年金数理」の問題 3 について

2020 年 1 月 10 日  
試 験 委 員 会

2019 年 10 月 9 日に実施した 2019 年度能力判定試験「年金数理」の問題 3 の冒頭の設定について、

「  $l_x = l_0(1 - e^{-0.2(30-x)})$  で定常人口にあった集団(ただし、 $0 \leq x \leq 30$ ) 」

としていますが、

「 $x = 0$  を代入すると、 $l_{x=0} = l_0(1 - e^{-6})$ 」となり、 $l_x$  の定義として混乱を招きかねず、

「  $l_x = l(1 - e^{-0.2(30-x)})$  で定常人口にあった集団(ただし、 $0 \leq x \leq 30$ 、 $l$ : 正の定数) 」

とすべきものでした。

なお、当問題はこの集団の平均年齢の収束値を求める問題であり、解答に導くにあたって支障はないものと考えられるため、受験者への得点の調整は行わないものとなりました。

今後、このような不整合が発生しないよう一層の注意を払って問題作成にあたってまいります。

以上